



プログラム名		みんな集まれ ハッピークリスマス！！					
対象年齢		年長（5～6歳）					
ねらい	メッセージ	自然の優しさに気づこう					
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・自然のもつ色、形の美しさ ・葉っぱの感触 ・ご飯粒のベタベタ ・協力して、一つのものを作る喜び 					
参加者のめやす		幼児 35人		/		支援者 5人	
実施時間		30分					
フィールド							
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間		活動			配慮・アドバイス アレンジ		
5分	<p>「木の精」(ミモとモーミ)登場</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱを探す 	<p>「木の精」(支援者)は子どもたちが活動に興味をもてるように話します。 (例)「オーイ」ともみの木の下でミモとモーミがみんなを呼ぶ。 「サンタさんから電話があって、ここの保育園を探しているんだけど、場所がわからないんだって、モミの木があるんだったら、目印に飾りをつけておいてほしいんだって」 色や形の美しさに共感しながら、葉っぱを探します。</p>					
15分	<p>モミの木に飾り付けをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻紐やご飯粒を使う 	<p>自然のもの(麻紐やご飯粒)で飾り付けをするようにします。 高いところも飾り付けができるように、カラーボックスを準備します。</p> 					

時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
5分	ふりかえり 	モミの木が子どもたちの飾り付けで、楽しかったことをみんなで喜び合います。 既成のクリスマスツリーと比較します。 (例)「クリスマスツリーの飾りは落ちてしまったらゴミになってしまうが、みんなで作ったモミの木の飾りは、落ちるとこのモミの木の栄養になるし、赤い実は鳥の食べ物になります」 小鳥が登場して、実を食べている姿を見せてもいいでしょう。 
【異年齢への対応】 0.1歳児： <ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉あそび(支援者が高さのあるところから落ち葉をパラパラ落とすことによりヒラヒラ舞う様子を見ましょう) ・年長さんたちが飾りつけたツリーを見ましょう。 2歳児：好きな葉っぱを拾い、支援者が麻紐に通し、子ども自身が木に飾りつけをしましょう。 年少：ふりかえりのときに、小鳥が実を食べている様子が見られるように、小鳥の妖精を登場させましょう。		
【園や家庭に帰ってから】 さまざまな形の容器に麻紐と水を入れて氷を作り、園の木や家の庭木に飾ってみましょう。 飾り付けた木に集まってくる虫などを観察してみよう。		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・机 ・麻紐 ・ご飯粒 ・ぞうきん(手についたのりをふくもの) ・不織布(サンタの袋・中にご飯粒と麻紐を入れておく) ・既成のクリスマスツリー ・カラーボックス(飾り付けの踏み台) 	

